

# 公表します

# 土岐市の家計簿

## 平成19年度下半期(10月～3月)の財政事情

この公表は、市の財政と市が経営する水道、病院事業の状況を皆さんに理解していただくため、毎年2回(6月と12月)行っているものです。  
 ここでは、平成19年度下半期(10月～3月)の予算執行状況や、企業会計の業務状況などについてお知らせします。

### 一般会計

本市の歳入の根幹となる市  
 税収入は、市民税の税源移譲  
 により前年度を上回る見込み  
 ですが、地方交付税が市税収  
 入の増や下水道資本費平準化  
 債の借入れの影響などで大  
 幅に減となることにより、歳  
 入全体では減収となる見込み  
 です。地方税および地方交付  
 税の推移を見ると、市税は回  
 復してきていますが、地方交  
 付税は減少を続けており、国  
 の財政状況が悪化している中  
 で、今後も減少が予想されま  
 す。

こうした状況の中、経費節  
 減に努め、真に必要な事業を  
 重点的に行うなど適切な行財  
 政運営に努めています。

平成19年度の一般会計予算

は、当初予算に前年度からの  
 繰越事業費と6回の補正を合  
 わせた結果、186億277  
 3万円となっています(表  
 参照)。

平成19年度下半期は、防災  
 行政無線デジタル化事業・学  
 園都市中央公園整備事業など  
 を行いました。

### 特別会計

特定の事業を行ったり、特  
 定の収入を特定の支出に充て  
 たりするときは、一般会計と  
 切り離して経理を行います。  
 これを特別会計といい、本市  
 の場合10種類あります(表  
 参照)。

### 企業会計

病院事業や水道事業などは、  
 それぞれ一つの会社で事業を

### 市債(長期借入金)

行っていると見立て、独立し  
 て経理を行うのが一般的です。  
 これを企業会計といいます。

市の収入には、市税などの  
 ほか、学校・道路・公園・下  
 水道など、一時的に多額の支  
 出を伴う建設事業の財源とし  
 て、市債(長期借入金)があ  
 ります。市債は、将来にわた  
 って負担を残すことになりま  
 すが、世代間の公平負担の原  
 則を尊重しつつ、返済能力の  
 範囲内で運用しています(表  
 参照)。

平成19年度は、防災行政無  
 線デジタル化事業・医療機器  
 整備事業などで市債を借り入  
 れました。

表② 市債の内訳

債目	金額
教育債	37億5,318万円
土木債	16億9,698万円
衛生債	10億7,113万円
民生債	5億5,646万円
消防債	4億2,027万円
その他	72億7,719万円
特別会計	
下水道事業債	162億7,478万円
農業集落排水事業債	3億2,890万円
企業会計	
病院事業債	51億6,324万円
水道事業債	66億6,477万円
合計	432億0,690万円

(平成20年3月末の現在高)

表① 一般会計・特別会計の収入・支出の概況







会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	186億2,773万円	175億8,052万円	129億8,001万円
特別会計			
曾木地区市有林管理	99万円	11万円	87万円
下水道事業	48億2,220万円	22億7,792万円	40億3,909万円
交通災害共済	1,750万円	820万円	1,200万円
国民健康保険	65億3,664万円	50億9,010万円	53億1,880万円
自動車駐車場事業	7,412万円	6,911万円	1,799万円
老人保健	58億1,564万円	48億8,229万円	52億4,761万円
介護保険(保険勘定)	35億8,534万円	29億0,062万円	30億7,837万円
介護保険(サービス勘定)	1,950万円	1,479万円	1,406万円
農業集落排水事業	1億1,252万円	6,229万円	9,877万円
介護認定審査会	4,592万円	3,351万円	3,638万円
障害者自立支援認定審査会	600万円	437万円	441万円

※収入済額・支出済額は3月31日現在のものです、決算額とは異なります。

# 市税の負担状況

土岐市の人口を63,199人（3月末日現在）として市民一人当たりで計算すると…

## 市税負担額

固定資産税  48,614円	市民税  48,189円	都市計画税  7,885円	たばこ税  5,131円	軽自動車税  1,692円	その他 (入湯税ほか)  369円
---	---	--	---	--	---

**合計 111,880円**

※平成20年3月末の収入済額を70億7,068万円で計算

# 企業会計の状況

## 病院事業の業務状況

平成19年度の総合病院利用者数は、入院が内科や産婦人科などの減少により対前年度比で、7,028人(7.4%)の減、外来(居宅介護サービス含む)が内科や整形外科などの減少により19,683人(9.3%)の減となりました。

### 《主な施設整備》

- ▷ 医療機器購入 6,917万円
- ▷ DPC(包括診療報酬)調査システム導入 357万円

### 業務の状況

病院名	区分	利用者数	1日平均利用者数
総合病院	入院	87,821人	240人
	外来	191,355人	781人
駄知診療所	外来	13,105人	54人
	合計	87,821人	240人
	外来	204,460人	835人

施設名	区分	利用者数	1日平均利用者数
老人保健施設 やすらぎ	入所	33,065人	91人
	通所	6,470人	22人

※入所に居宅介護サービスの入所利用含む。

### 経理の状況

病院名	区分	金額
総合病院	収入	60億9,026万円
	支出	65億5,391万円
	差引	△4億6,365万円
駄知診療所	収入	1億0,479万円
	支出	9,662万円
	差引	817万円
合計	収入	61億9,505万円
	支出	66億5,053万円
	差引	△4億5,548万円

※総合病院に老人保健施設を含む。

## 水道事業の業務状況

平成19年度の配水量は678万m<sup>3</sup>(対前年度比0.15%減)、これに対する有収水量は630万m<sup>3</sup>(対前年度比0.10%減)となりました。有収率は92.99%で、前年度に比べ0.05ポイント増となりました。

### 《主な施設整備》

- ▷ 上水道中央監視設備更新工事(5件・2億7,561万円)
- ▷ 公共下水道関連工事 (6件・4,774万円)
- ▷ 電気設備更新工事 (1件・3,990万円)
- ▷ 施設改良工事 (5件・2,915万円)

### 業務の状況

区分	業務量
配水量	6,777,453m <sup>3</sup>
有収水量	6,302,356m <sup>3</sup>
有収率	92.99%
給水件数	22,997件
給水人口	63,073人

※有収率=有収水量(料金となった水量)と配水量との割合

### 経理の状況

区分	金額
収入	16億2,189万円
支出	16億0,232万円
差引	1,957万円